

山口県が抱える薬剤師の地域偏在と在宅医療の
問題を解決する先進的な薬剤師養成プログラム

課題1. 山口県が抱える地域課題

- ① 全国3位の**高齢化**（高齢化率35%）
- ② 県内5割を超える市町が**過疎地域**
（県内19市町のうち10市町が過疎地域）

課題2. 山口県が抱える医療問題

- ① へき地における**在宅医療**の需要増
- ② 医師・**薬剤師の地域偏在・高齢化**
（無薬局・偏在地域の存在）

課題3. 山口県が抱える医療人材ニーズ

効率的・効果的にへき地の在宅医療に対応する
薬剤師の確保・育成
（へき地での実務経験、オンラインを活用した遠隔服薬指導）

地域の医療ニーズ・求められる人材に応える新たな教育
「山口県が抱える薬剤師の地域偏在と在宅医療の問題を解決する先進的な薬剤師養成プログラム」

養成する
人材像

へき地医療の問題点を理解し解決するマインドと実践力を有する薬剤師

新規性

へき地の在宅医療実務実習

へき地の診療所・在宅医療を行う薬局で4週間の実務実習

病院薬局実務実習を修了した5・6年生を対象にしたアドバンス実務実習

【学習達成目標】

- ① 在宅内の医薬品の管理や残薬の調整を行い必要に応じてポリファーマシーを改善することができる。
- ② 薬物療法の効果・副作用等に関して必要に応じフィジカルアセスメントを行うなどして継続的に管理し、医師や他の医療従事者に協議・提案できる。
- ③ 在宅患者の訪問薬剤管理指導や、居宅療養管理指導の報告書を作成できる。

先進性

VR（仮想現実）とAR（拡張現実）を活用した
へき地医療・在宅医療疑似体験教材

5GとAI感情解析ソリューションを活用した
へき地オンライン服薬指導

XRによる遠隔地服薬指導・調剤シミュレーション、ARメガネを活用した**調剤DX**



へき地医療を体験し問題点と課題を理解するとともに、課題解決にDXを活用できる実践力を養成

<関係団体等との連携>

- ・地域の医療ニーズの共有
- ・求められる人材の共有
- ・教育プログラムの開発・実施



地域医療で活躍するDXファーマシストの育成



<達成目標>

- ・教育プログラム履修生 10人
- ・地域医療を志す学生数 30%
- ・へき地医療施設就職数 5人

地方自治体・関係団体

- 山口県、山陽小野田市
- 山口県薬剤師会
- 山口県病院薬剤師会



連携

修了後の進路

- 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局
- へき地で在宅医療を行っている薬局
- 中山間地域・へき地の医療施設



支援

地域定着の推進策

山口県内の中山間地域・へき地の
薬局・医療施設に就職した修了生
には奨学金の返還を補助（県と連携）

